

## 2) 鈴鹿川と中ノ川

### ア 採録した呼び方（現在と異なる呼び方のみ）

#### a 鈴鹿川水系

##### ア) 本流

- ・ 鈴鹿川(上流部) ヤソセガワ(:八十瀬川)
- ・ 坂下~加太川との合流点 サカシタガワ(:坂下川)
- ・ 関~庄野付近 セキガワ(:関川)
- ・ 庄野~河曲付近 カイガワ(:甲斐川)

##### イ) 支流・細川

- ・ 加太川 ヤマトガワ(:大和川)
- ・ 国府町西之城戸~菅内町を流れる細川 サカゲ、サカサマガワ(:逆さま川)
- ・ 亀椿川 ベンテンガワ(:弁天川)、ウラカワ(:裏川)、オサンダノカワ
- ・ 安楽川 ハライガワ(:裨い川=安坂山町坂本の東の川)、ナナマガリ(:七曲り=池山~両尾間)、サカサマガワ(:逆さま川=安坂山町安楽の湾曲部)
- ・ 芥川 ショウテンガワ(:聖天川)
- ・ 浪瀬川 キタガワ(:北川)

#### b 中ノ川水系

- ・ 中ノ川 タナイケガワ(:種池川)

### イ 呼び方とその状況

鈴鹿川の呼び方としては、本川では「セキガワ」や「カイガワ」をはじめ計4種を採録した。

鈴鹿川本川は、万葉集由来の呼び方である「ヤソセガワ」が一部にみられたほか、加太川との合流地点までが「サカシタガワ」、合流地点から庄野付近までが「セキガワ」、その下流部では「カイガワ」と呼ばれた。また、古い文献にはさらに下流部で「タカオカガワ」という呼び方もあるという。

支流にあつては、加太川の呼び方として「ヤマトガワ」、また安楽川では野登地区の一部の区間の呼び方として「ナナマガリ」、 「サカサマガワ」を採録した。

中ノ川の呼び方としては、「タナイケガワ」の1種を採録したが、当時以前から「ナカノガワ」と呼ばれていたものとみられる。

### ウ その他

「鈴鹿川」と「中ノ川」が公文書上に現れるのは明治11年版以降の「三重県統計書」であり、また、「鈴鹿川」は、大正6年に当時の河川法準用河川認定の三重県告示がされている。

